

48. 薬用にんじん

・殺菌剤

FRACコード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
-	(クロルピクリン) クロピク80 ドクロール ドジョウピクリン	土壌くん蒸	-	1回	
	クロールピクリン	土壌くん蒸	-	1回	
19	ポリオキシシ AL 水和剤「科研」	散布	収穫 30 日前まで	20 回以内 (但し、1 年間に 5 回以内)	
2	ロブラール水和剤	散布	収穫 14 日前まで	4 回以内	

・殺菌剤 (参考農薬)

FRACコード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
M1	I C ボルドー 6 6 D	散布	-	-	

・殺虫剤 (参考農薬)

IRACコード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
1	オルトラン水和剤	散布	収穫 180 日前まで	5 回以内	

- 注1) 使用回数はその薬剤の使用回数を記載しており、この他に薬剤に含まれる成分毎に、総使用回数が決められているので、農薬ラベル等を確認してそれを超えないように注意する。
- 注2) 薬剤抵抗性の出現を防ぐため、「FRACコード」や「IRACコード」を参考にしながら他系統剤とのローテーション使用を心掛ける（「薬剤抵抗性管理」参照）。
- 注3) 使用回数は栽培期間内の回数であり、播種から収穫までの総使用回数なので、間違えないように注意する。
- 注4) 商品名ポリオキシシ AL 水和剤「科研」でしか登録がない。

病害虫名 (F : 菌類病、B : 細菌病、V : ウイルス病、O : その他の病原体)

病害虫名	防除時期	防除方法	注意事項
根腐病 (F)	播種前または植付前	1. クロルピクリン剤で土壌消毒する (土壌消毒の項を参照)。	
灰色かび病 (F)	生育期間	1. ロブラール水和剤 1,500 倍液を散布する。	1. 発生は地際部に多いので、土際部及び株際周辺の土壌に十分散布する。 2. 4年生株以上に発病が多いので、防除を徹底する。 3. 被害茎葉は、発見次第集めて焼却する。 4. 畦の通路前面や果実の部分にも丁寧に散布する。
斑点病 (F)	生育期間	1. ポリオキシシ AL 水和剤 1,000 倍液、又はロブラール水和剤 1,500 倍液を散布する。 [参考農薬] 1. I C ボルドー 6 6 D の 50 倍液を散布する。	1. 4年生株以上に発病が多いので、防除を徹底する。 2. 被害茎葉は、発見次第集めて焼却する。 3. 畦の通路前面や果実の部分にも丁寧に散布する。
アブラムシ類	生育期間	[参考農薬] 1. オルトラン水和剤 1,500 倍液を散布する。	1. 発生初期に散布する。
ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	播種前または植付前	1. 土壌線虫の項を参照する。	

- 注) 越冬病害虫駆除のため、10月中旬～下旬に、地上部の茎葉が枯れたら、茎の付着部から切り取り集めて焼却する。